

# 第1章 平成22年度山口大学構内遺跡の調査

## 第1節 平成22年度に実施した遺跡調査の概要

山口大学の関連諸施設は、山口市(吉田・白石構内)、宇部市(小串・常盤構内)、光市(光構内)の県内各市に分散しているが、各構内は「周知の埋蔵文化財包蔵地」内、つまり遺跡の上に立地している。各構内の様相を概観すると、吉田構内は縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての全時代を網羅する複合集落遺跡として県内でも著名である吉田遺跡内に、白石構内は弥生時代から古墳時代を中心とした集落遺跡である白石遺跡内に、小串・常盤構内は旧石器時代から江戸時代にかけての遺物が出土する山口大学医学部構内遺跡内・山口大学工学部構内遺跡内に、光構内は縄文時代から江戸時代にかけての集落遺跡・遺物散布地である御手洗遺跡と月待山遺跡内にまたがって位置している。

このような環境の下、山口大学埋蔵文化財資料館は山口大学構内に埋存する貴重な埋蔵文化財を保護・調査・研究・活用する施設として、昭和53年に職員が配置されて以来、その重責を担い続けている。当館の平成22年度時の調査体制は以下の通りである。

まず、各構内において地下掘削を伴う工事が立案・計画された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において事業計画の確認を行った後、文化財保護法の諸手続の下、山口大学各構内が位置する地方公共団体(山口県および各市)の指導により、埋蔵文化財保護の立場から本発掘・予備発掘・立会の3種の方法で調査を厳密に行っている。「周知の埋蔵文化財包蔵地」外に位置する大学関連施設(職員宿舍等)敷地内で地下掘削を伴う工事が実施される場合においても、埋蔵文化財の新規発見の可能性を考慮して、出来る限り工事掘削時に資料館員が確認調査を行っている。これらの調査に対する当館の平成22年度の職員配置は、専任教員2名と教務補佐員1名、事務補佐員1名である。

上記の調査の結果で埋蔵文化財が確認された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において、遺跡のさらなる現状変更を避けるべく、工事計画、工事設計の変更等で現状保存が可能であるかどうか

表1 平成22年度山口大学構内遺跡調査一覧表

調査区分	調査名	構内地区	構内地区割	面積(m <sup>2</sup> )	調査期間	本書掲載頁
予備発掘	教育学部研究実験棟B棟改修工事	吉田	H・I・J-18・19	20	7月20日～7月28日	5～14
	音楽サークル棟新営工事	吉田	G-14	12	12月20日～12月24日	15～17
	医学部附属病院患者用・職員用立体駐車場建設工事	小串		125	5月10日～6月1日	30～42
立会	地域医療教育研修センター新営工事	小串		156	1月11日～2月14日	43～58
	教育学部研究実験棟B棟改修工事	吉田	H・I・J-18・19	60	1月28日～3月7日	5～14
	教育学部研究実験棟G棟改修工事	吉田	G-18	22	5月6・11日	18
	音楽サークル棟新営工事	吉田	G-14	1.5	2月4日	15～17
	吉田寮改修工事	吉田	L・M-9	1,820	7月27日 10月5日	19
	基幹整備(鑄鉄管改修)工事	吉田	Q-18	13.6	2月1日	20
	基幹環境整備(第1体育館周辺排水整備)工事	吉田	G-13	8	8月8日	21
	事務局2号館車寄せ取設工事	吉田	L-14	3.6	9月1日	22
	里山遊歩道手摺り取設工事	吉田	N・O-14	15.2	8月30日	23
	人文学部駐輪場外灯設置工事	吉田	M-22	13.6	3月16日	24
	教育学部附属特別支援学校構内雨水排水補修工事	吉田	C・D-21	18	8月9日	25
	農学部附属農場果樹園側溝新設工事	吉田	R・S-19	10	3月14日	26～28
	教育学部附属山口小学校渡り廊下設置工事	白石		12	3月7日	29
	医学部立体駐車場新営工事	小串		27	6月22日 9月6日	30～42
	教育学部附属光中学校防球ネット設備工事	光		1	8月19日	59

について厳密な協議を行い、保存方法を選定している。また、調査成果については地方公共団体への報告後、内業整理等を経て可能な限り迅速に発掘調査概報(本書)を刊行している。

上記の調査体制の下、平成20年度に当館が実施した大学構内における埋蔵文化財の調査は、前頁表の通り、予備発掘調査4件、立会調査14件の計18件であった。

**吉田構内**(本部、人文・教育・経済・理・農の各学部:山口市吉田1677-1、教育学部附属養護学校:同吉田3003所在)

例年同様、平成22年度の埋蔵文化財調査も吉田構内に集中し、その件数は予備発掘調査2件、立会調査11件を数える。教育学部研究実験棟B棟改修工事に伴う予備発掘調査では、外灯設置工事が予定される4箇所について調査を実施した。いずれも狭小な調査区であったが、C棟南側に設定したC調査区において落ち込み1基とピット1基、溝1条を検出し、堆積土中より弥生時代中期の土器の出土を見た。構内西部、第2武道場西に計画された音楽サークル棟新営工事に伴う予備発掘調査では遺物包含



写真1 吉田構内航空写真(南東から)



写真2 白石構内(教育学部附属山口幼稚園・小学校)航空写真(東から)



写真3 白石構内(教育学部附属山口中学校)航空写真(南から)



図1 山口大学吉田・白石構内位置図

層と見られる堆積層や河川、落ち込みと見られる堆積層を確認した他は顕著な埋蔵文化財は確認されなかった。立会調査では、農学部解剖実習棟北側にて実施した農学部附属農場果樹園側溝新設工事に伴う立会調査において、土壙5基、ピット3基、溝3条を検出した。調査地点東方で平成20年度調査にて確認された中世集落跡の延長部と推定される。その他、教育学部研究実験棟G棟改修工事に伴う立会調査や事務局2号館車寄せ取設工事に伴う立会調査などにおいてピット等の遺構を、他にも構内複数箇所で見られる遺物包含層や河川を確認している。

**白石構内** (教育学部附属山口幼稚園: 山口市白石三丁目1-2、同山口小学校: 白石三丁目1-1、同山口中学校: 白石一丁目9-1所在)

立会調査1件を実施した。教育学部附属山口小学校渡り廊下設置工事に伴う立会調査では、顕著な埋蔵文化財は確認できなかった。

**小串構内** (医学部、同付属病院: 宇部市南小串1丁目1-1)

予備発掘調査2件、立会調査1件を実施した。医学部附属病院患者用・職員用立体駐車場建設工事に伴う予備発掘調査は、旧海浜部に立地する構内で唯一丘陵地に該当する北西端部での初の発掘調査であり、遺構の検出が期待されたが、丘陵は過去に大規模に削平を受けていることが判明した。その状況から見て構内に延びる丘陵全体が削平されているものと推定される。丘陵縁辺部の堆積層からは土師器、瓦質土器、陶器、磁器などが出土している。構内東端部にて実施した医学部地域医療教育研修センター新営工事に伴う予備発掘調査では、縄文土器、弥生土器、古墳時代から古代にかけての土師器、須恵器、近世の土師器、陶器、土製品など多様な遺物の出土を見た。特に第4層出土土器類の遺存状態が良好であり、近隣地に複合遺跡が存在する可能性を高める成果となった。立会調査では医学部附属病院患者用・職員用立体駐車場建設工事に伴う予備発掘調査にて確認された層序がさらに南西まで確認されることが判明した。

**常盤構内** (工学部: 宇部市常盤台2丁目16-1、尾山宿舍: 同上野中町2658-3所在)

土地の掘削を伴う工事計画は立案されなかった。

**光構内** (教育学部附属光小学校、同光中学校: 光市室積8丁目4番1号)

立会調査1件を実施した。教育学部附属光中学校防球ネット設備工事に伴う立会調査では、遺物包含層と見られる黒色砂質土を確認した。光中学校体育館周辺は多量の遺物を含む遺物包含層が濃密に分布する地域であるが、現在の海岸線付近まで分布する可能性が高まった。

平成22年度は調査数こそ吉田構内が突出していたが、調査規模がいずれも狭小であったため、遺跡の性格を再考するほどの調査成果は得られていない。一方で小串構内では調査件数は少ないものの一定規模で調査を実施したため、複数の新知見を得るに至っている。他の構内では工事計画が少なく、埋蔵文化財に大きな支障は生じなかった。



図2 小串・常盤構内位置図



写真4 小串構内航空写真（南東から）



写真5 常盤構内航空写真（南から）

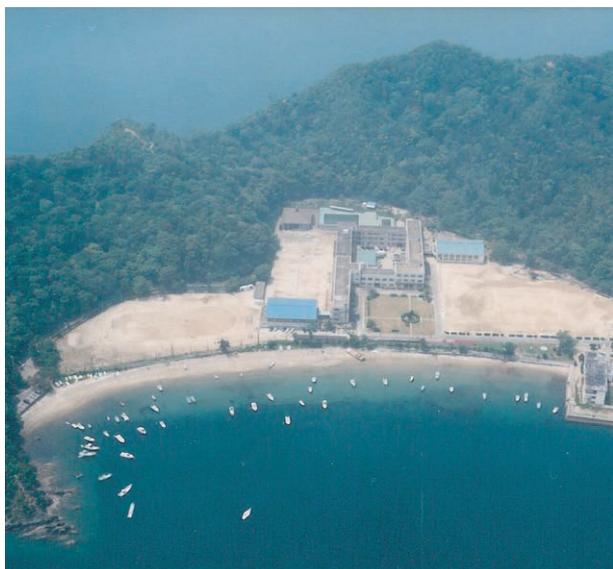


写真6 光構内航空写真（北東から）



図3 光構内位置図